

2.6 浸水被害実績

過年度の報告書にて整理された浸水被害実績および直近に発生した浸水被害に基づき、浸水被害状況を整理した。

浸水被害状況を表 2.6 に、浸水被害の実績箇所を図 2.14～図 2.19 にまとめた。

表 2.5 浸水被害実績の根拠資料一覧

資料名称	年度
在自川冠水対策基本設計業務 報告書	平成 23 年 3 月
苅目川外雨水基本計画策定業務 報告書	平成 25 年 3 月
井尻川排水区浸水対策検討業務委託 報告書	平成 29 年 2 月
2024～2025 年の浸水箇所	—

表 2.6 浸水被害状況一覧

浸水発生日	気象要因	排水区	被害状況別件数			備考
			床下浸水	床上浸水	合計	
H11.6.29	—	苅目川	7	5	12	—
H15.7.11	—	苅目川	6	0	6	—
H19.7.2	—	苅目川	8	0	8	—
H19.7.2	集中豪雨	井尻川	—	—	—	道路冠水
H19.9.15	—	苅目川	8	0	8	—
H20.8.9	集中豪雨	苅目川	1	8	9	花見73号線道路冠水により通行止め
H21.7.3	集中豪雨	苅目川	8	—	8	—
H21.7.24	集中豪雨	津屋崎	12	0	12	道路冠水
H21.7.24	集中豪雨	井尻川	—	—	—	道路冠水
H21.7.24	集中豪雨	苅目川	5	—	5	—
H24.7.16	集中豪雨	苅目川	21	0	21	花見73号線道路冠水により通行止め
H24.7.16	集中豪雨	井尻川	—	—	—	道路冠水
H25.7.3	集中豪雨	苅目川	4	—	4	—
R5.7.1	集中豪雨	苅目川	1	—	1	—
R6.7.1	集中豪雨	井尻川	—	—	—	道路冠水
R6.7.1	集中豪雨	福岡	—	—	—	道路冠水
R6.7.1	集中豪雨	苅目川	—	—	—	道路冠水
R6.7.1	集中豪雨	桜川	—	—	—	道路冠水
R6.7.1	集中豪雨	寺溝	—	—	—	道路冠水
R6.7.1	集中豪雨	中川	—	—	—	道路冠水
R6.7.1	集中豪雨	津屋崎	—	—	—	道路冠水
R6.9.11	集中豪雨	井尻川	—	—	—	原町雨水幹線などで道路冠水
R7.8.9～R7.8.12	集中豪雨	苅目川	3	37	40	その他排水区でも道路冠水など

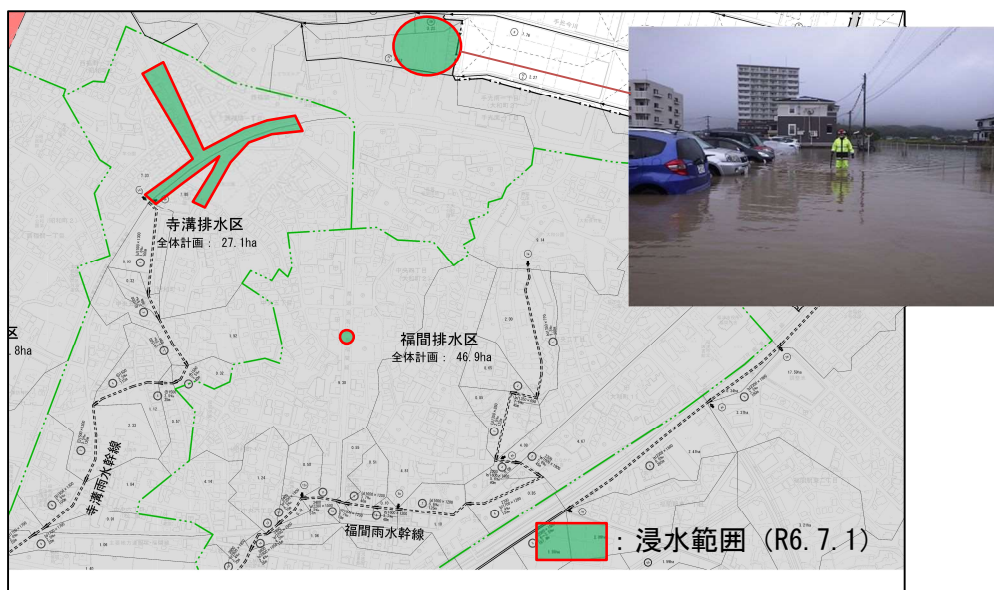


図 2.16 浸水被害の実績箇所図（寺溝排水区・福間排水区・手光排水区）

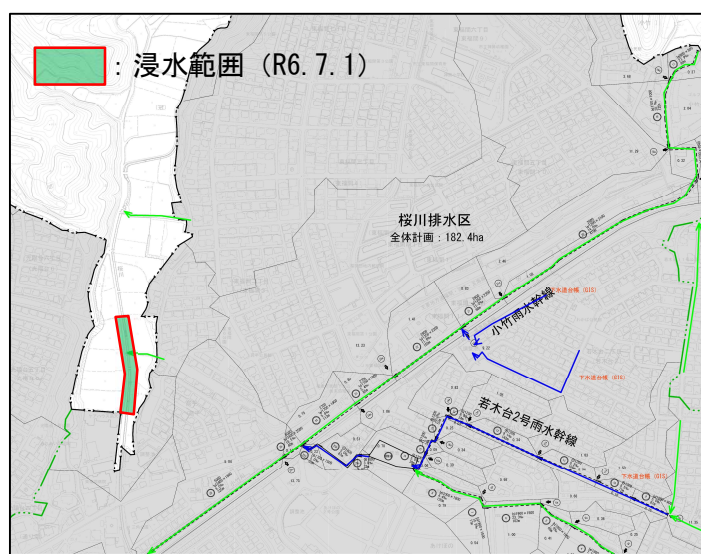


図 2.17 浸水被害の実績箇所図（桜川排水区）

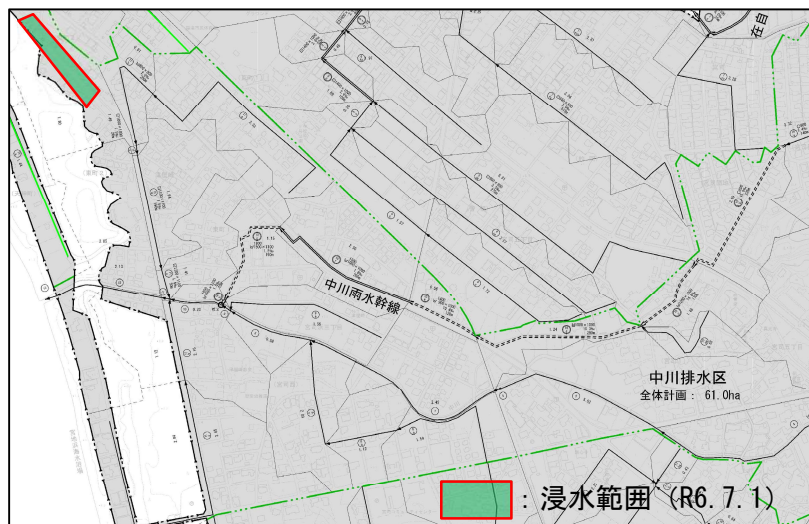


図 2.18 浸水被害の実績箇所図（中川排水区）



図 2.19 浸水被害の実績箇所図（津屋崎排水区）

■（参考）令和6年度に発生した浸水被害状況写真

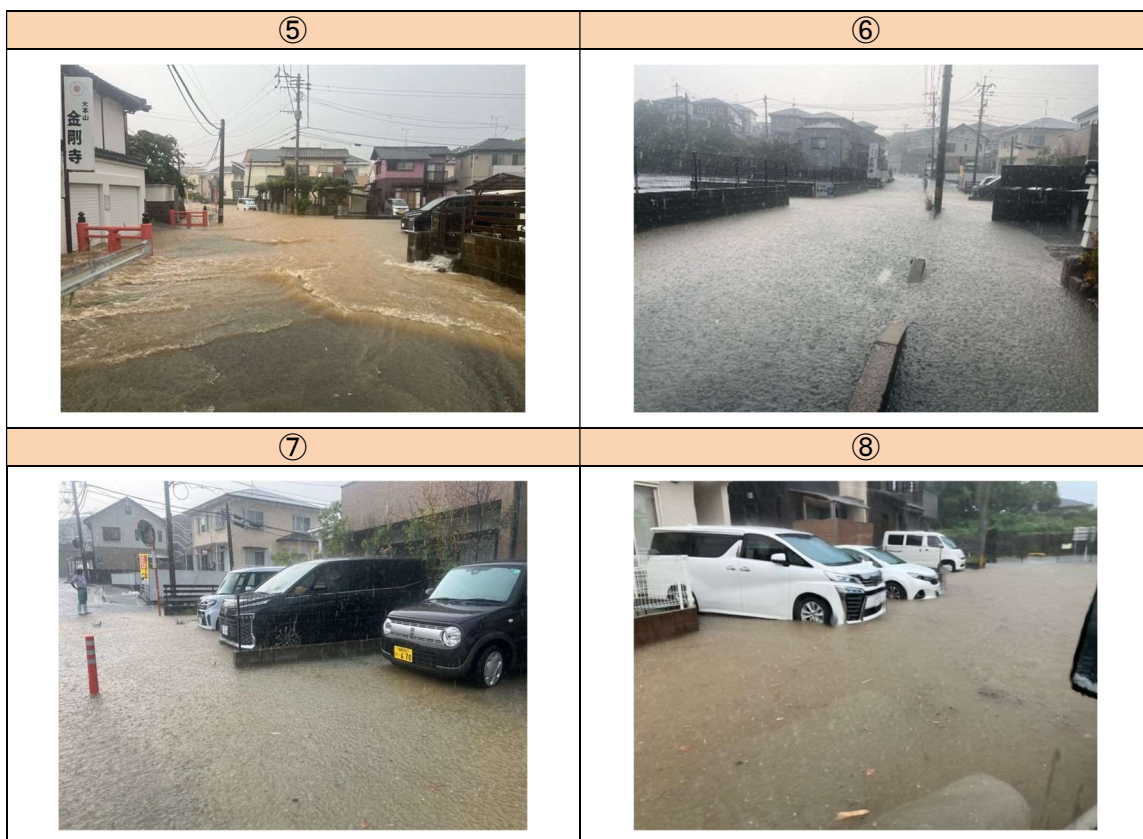
◇手光排水区における浸水被害状況（2024. 7. 1）



◇井尻川排水区・原町雨水幹線における浸水被害状況（2024. 9. 11）



第2章 基礎調査



◇浸水被害状況 (2024. 11. 1)



■（参考）令和7年度8月9日～12日に発生した浸水被害状況

令和7年8月9日～12日にかけての豪雨により、各排水区で発生した浸水被害箇所を以下より示す。各箇所では、過年度までの浸水実績範囲を超えて被害が拡大している区域や、四角排水区や手光排水区など、新たに浸水被害が発生した区域が確認された。

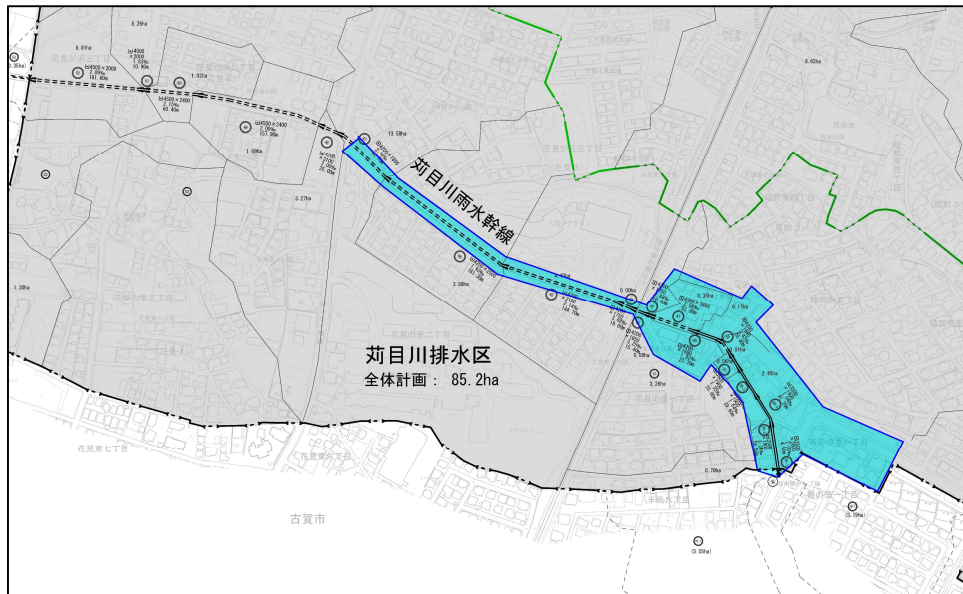


図 2.20 R7.8 浸水被害の実績箇所図（苅目川排水区）

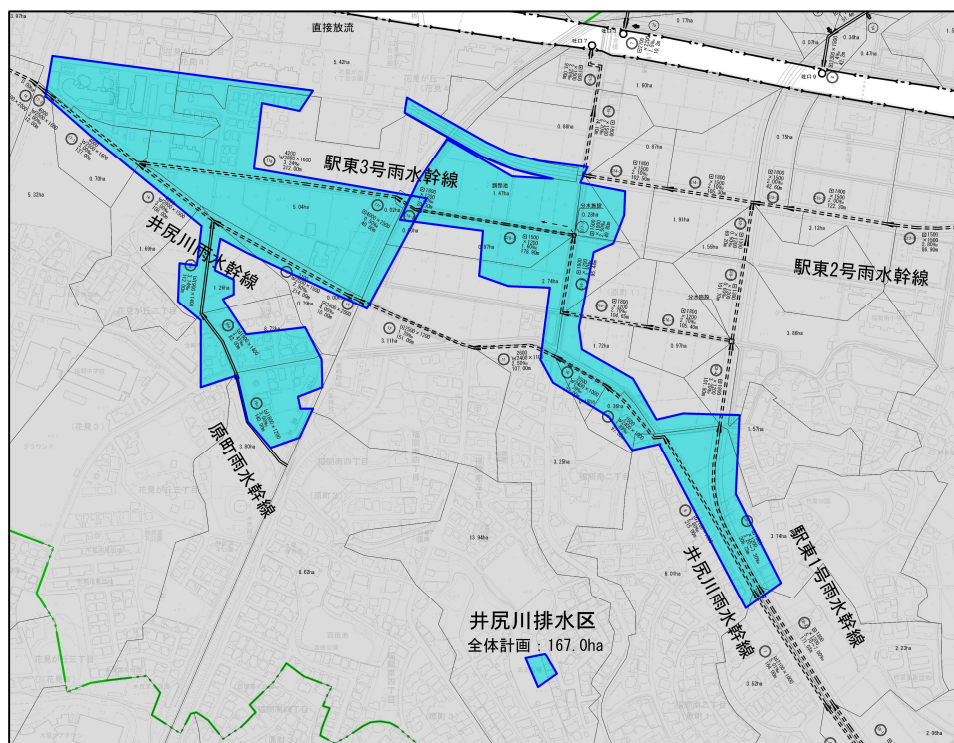


図 2.21 R7.8 浸水被害の実績箇所図（井尻川排水区）

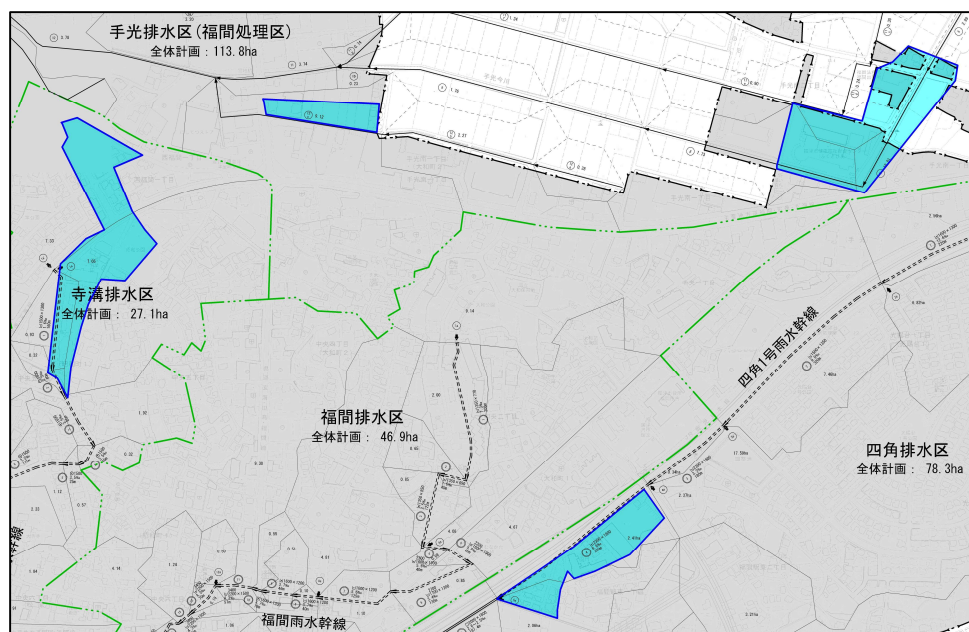


図 2.22 R7.8 浸水被害の実績箇所図（寺溝・手光・四角排水区）

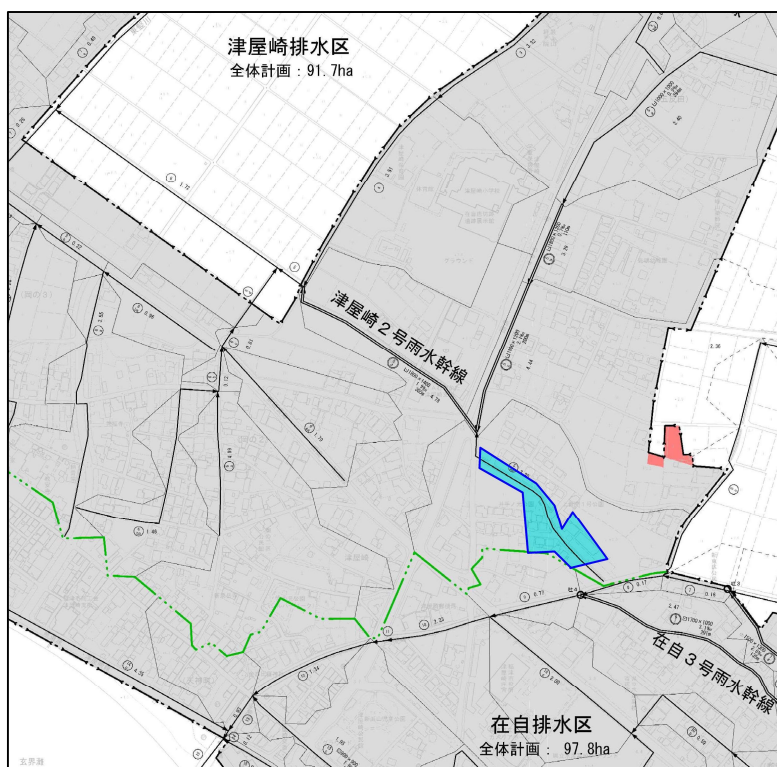


図 2.23 R7.8 浸水被害の実績箇所図（津屋崎排水区）

2.7 降雨記録

2.7.1 降雨観測地点

本市周辺の雨量観測地点（気象庁）は、図 2.24 に示すとおり、宗像・篠栗・福岡の3箇所に分布している。本調査では、福津市より最も距離の近い**宗像観測所**の降雨データと、事業計画における降雨強度を設定する際のベースとしている**福岡観測所**の降雨データについて整理する。なお、篠栗観測所は2009年11月20日までの観測データであるため今回の整理からは除外する。

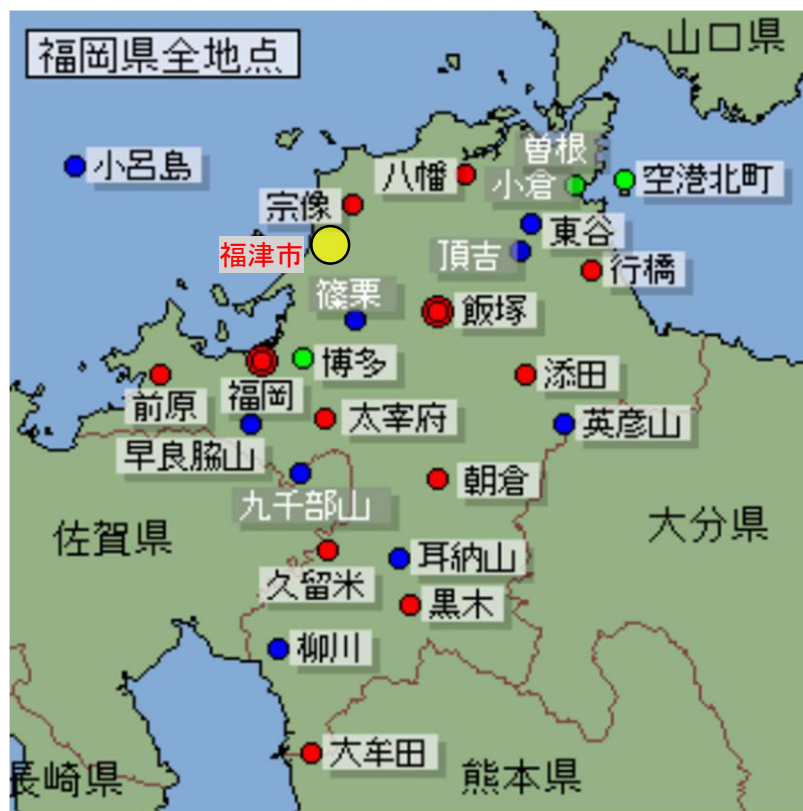


図 2.24 福岡県における降雨観測地点（気象庁）

出典：気象庁 HP

2.7.2 浸水発生時の降雨観測記録

浸水被害が発生した際の雨量データとして、宗像観測所および福岡観測所にて観測された雨量データについて、表 2.7 に整理した。浸水発生日における各観測所のデータを比較すると、宗像観測所の降雨量が福岡観測所の降雨量に比べ、全体的に高い値を示していることから、福津市における実際の降雨状況に比較的近いデータであると考えられる。

表 2.7 浸水発生日の降雨データ (H11～R7)

項目 浸水発生日	観測地点	10分最大 (mm/10min)	60分最大 (mm/hr)	総雨量 (mm)
H11.6.29	福岡	データなし	77.0	160.0
	宗像	14.0	60.0	147.0
H15.7.11	福岡	データなし	25.5	44.0
	宗像	12.5	49.0	67.5
H19.7.2	福岡	データなし	18.0	57.0
	宗像	14.5	51.0	132.5
H19.9.15	福岡	データなし	7.0	12.0
	宗像	8.0	19.0	31.5
H20.8.9	福岡	1.5	2.0	2.0
	宗像	7.5	11.0	11.0
H21.7.24～H21.7.25	福岡	15.5	71.0	255.0
	宗像	16.5	59.0	271.0
H24.7.16	福岡	9.5	42.0	81.5
	宗像	10.5	35.5	73.5
R6.7.1	福岡	1.5	5.5	15.5
	宗像	14.0	64.0	147.5
R6.9.11	福岡	降雨なし		
	宗像	3.5	7.5	7.5
R6.11.1～R6.11.2	福岡	10.0	39.5	259.5
	宗像	7.0	27.5	225.5
R7.8.9～R7.8.12	福岡	18.0	65.5	269.0
	宗像	25.5	76.5	615.5

■浸水発生時の降雨データに関する考察

過年度に浸水が発生した日を対象に、宗像観測所で観測された降雨データに基づき、各データの総降雨量を縦軸、60分最大降雨量を横軸とした散布図を以下に示す。

本図より、浸水発生時の降雨には以下の特徴が確認できる。

- 総降雨量はそれほど多くないものの、60分最大降雨量が大きいケース (R6.7.1)
- 60分最大降雨量は比較的小さいが、総降雨量が多いケース (R6.11.1～R6.11.2)
- 両データがともに多いケース (H21.7.24～H21.7.25、R7.8.9～R7.8.12)

なお、今年度浸水が発生した際の降雨 (R7.8.9～R7.8.12) に関しては、散布図上で過年度事象に比べて右上側に位置しており、60分最大降雨量が相対的に大きく、特に総降雨量が顕著に多いことが確認できる。また、気象庁の発表によると、福津市付近において約110mm/時の降雨が確認されており、短期間に強い雨が集中していたことが確認できる。

このため、今年度浸水が発生した際の降雨 (R7.8.9～R7.8.12) は、60分最大降雨量および総降雨量の両観点から、過年度に比べて突出した降雨であったことが確認できる。

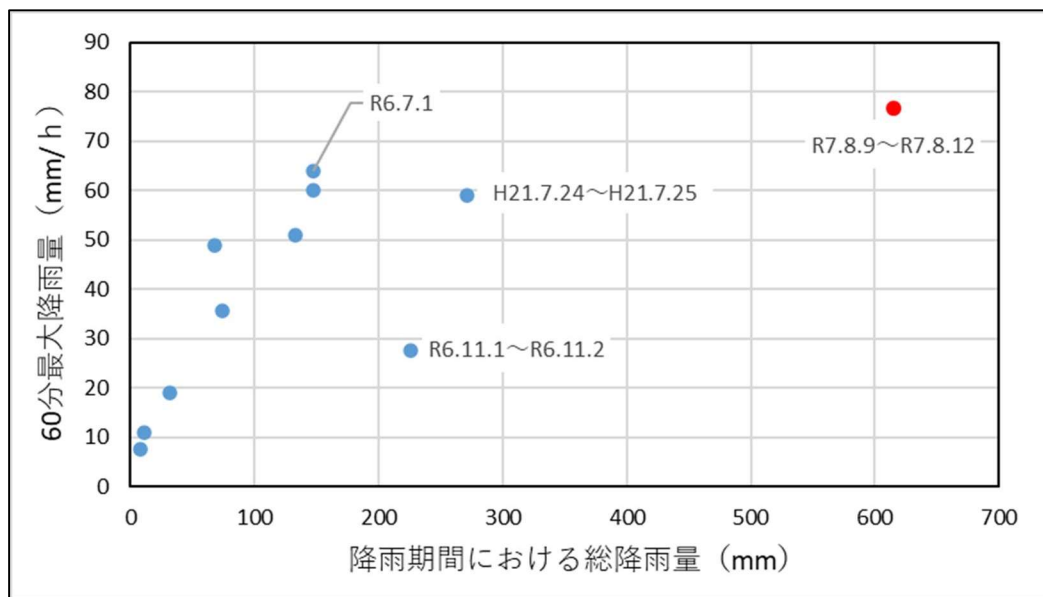


図 2.25 浸水発生時における総降雨量および 60 分最大降雨量

【大雨の状況】

福岡県では、9日夜から10日夜にかけて猛烈な雨や非常に激しい雨が断続的に降り続いた。新宮町付近で1時間に約120ミリ、福津市付近、宗像市付近、福岡市西区付近、糸島市付近、うきは市付近で1時間に約110ミリの雨を解析し「記録的短時間大雨情報」を発表した。

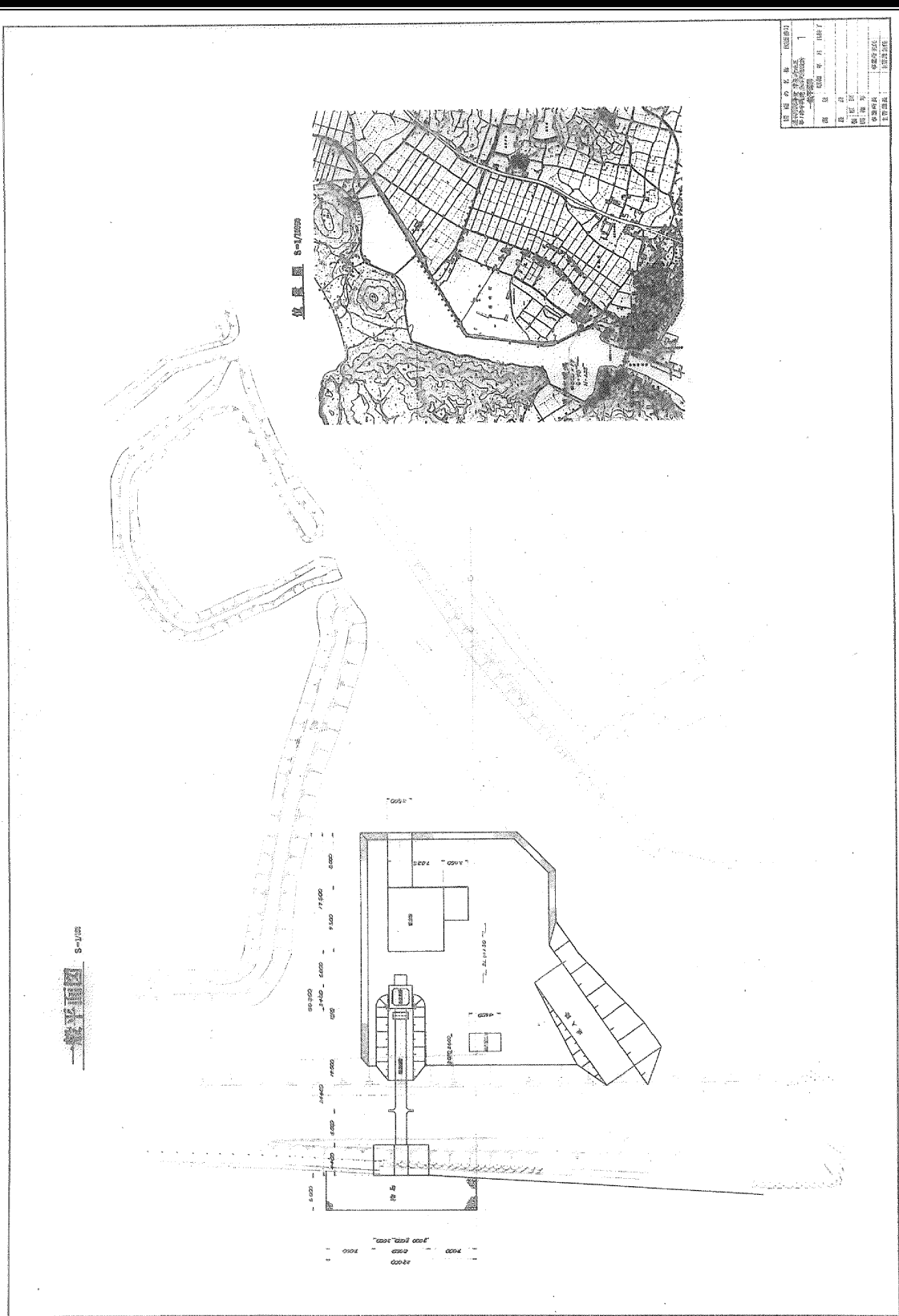
10日の日降水量は宗像(宗像市)で308.0ミリ、行橋(行橋市)で302.5ミリ、八幡(北九州市)で261.0ミリを観測し、観測史上1位の記録を更新するなど、9日から12日にかけての総降水量は、福岡地方や北九州地方の沿岸を中心に600ミリを超える記録的な大雨となった。

福岡管区气象台「災害時気象資料」(令和7年8月13日)より抜粋

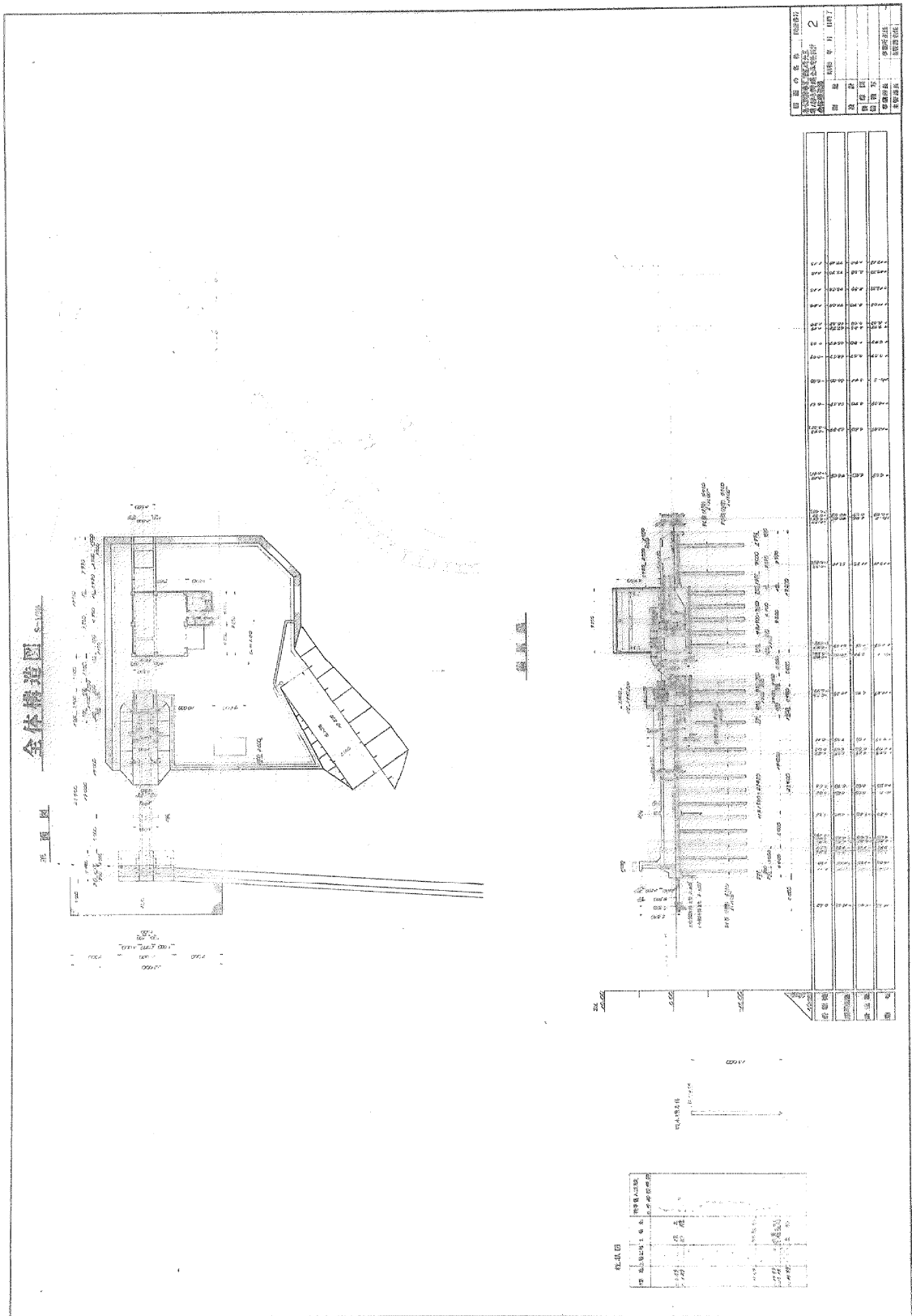
2.8 その他排水施設

下水道以外の排水機場として、「津屋崎第1排水機場」がある。次のページより資料を抜粋する。

第2章 基礎調査



図名	基礎調査
図号	基礎調査
縮尺	1/1000
作成者	〇〇〇
承認者	〇〇〇
作成日	〇〇/〇〇/〇〇
承認日	〇〇/〇〇/〇〇
備考	



1-1. 流域の状況

1-1-1. 流域面積

水田	-----	104.0 ^{ha}
畑	-----	31.5
果樹園	-----	5.8
宅地	-----	22.2
山林	-----	2.0
その他	-----	86.5
	-----	252.0 ^{ha}

1-1-2. 湛水曲線図

図1-1参照

1-1-3. 計画内水位

最低水位 EL (-)0.20^m
 計画水位 EL (-)0.20^m
 最高水位 EL (+)0.64^m

1-2. 機械排水量及実揚程

$$\Sigma Q = 43 \text{ m}^3/\text{min} = 0.8 \text{ m}^3/\text{s}$$

実揚程 計画実揚程 1.00^m

吸込水位 EL (-)0.20^m

吐出水位 EL (+)0.80^m

9. 吐水経管

9-1. 排水方式

吐水水槽の水位と博多港潮位との水位差による自然排水方式とする。

9-2. 潮位と排水量

博多港潮位

計画外水位 (ポンプ揚程決定) ----- 実測潮位

$$\text{小潮満潮位} = (4) 0.75$$

計画最高外水位 (ポンプ馬力予エック) ----- 実測潮位

$$\text{大潮満潮位} = (4) 1.38^m$$

排水量

計画排水量 (ポンプ計画実揚程)

$$\begin{aligned} Q &= 0.8 \text{ m}^3/\text{sec} \times 1 \text{ 台} = 0.8 \text{ m}^3/\text{sec} \\ &= 48 \text{ m}^3/\text{min} \end{aligned}$$

2.9 流域治水プロジェクト

北九州・宗像圏域の流域治水プロジェクトを次のページより抜粋する。福津市としては、「釣川水系」「手光今川水系」「西郷川水系」が該当する。

北九州・宗像圏域 流域治水プロジェクト【ロードマップ】
 ~世界文化遺産を有する古くから栄えた地域を水災害から守る圏域が一体となった流域治水の推進~

福岡県

北九州・宗像圏域の主な対象水系【貫川水系、竹馬川水系、相善川水系、清滝川水系、大川水系、村中川水系、紫川水系、板櫃川水系、撥川水系、獅子川水系、金山川水系、金手川水系、矢野川水系、西郷川水系、釣川水系、手光今川水系、西郷川水系、

区分	対象内容	実施内容	実施主体	水系名	工程				
					短期	中期	中長期		
二級水系 流域治水プロジェクト	雨水貯留浸透機能の向上	開発に伴う雨水流出抑制に係る規制・指導	福津市	手光今川水系、西郷川水系	●	●	●		
		ため池の増強・有効活用	阿蘇町	矢野川水系、汐入川水系	●	●	●		
			福岡県	圏域一円	●	●	●		
		ため池の有効活用	北九州市	市内全域	●	●	●		
			宗像市	釣川水系	●	●	●		
		ため池の劣化状況等の評価	阿蘇町	汐入川水系	●	●	●		
			宗像市	釣川水系	●	●	●		
		既存ダムの治水機能の強化 ※治水施設維持費	福岡県	高郷川水系	●	●	●		
			北九州市、宗像市、福津市、阿蘇町	圏域一円	●	●	●		
		被害対象を減少させるための対策	砂防対策	水田の貯留機能向上	宗像市	釣川水系	●	●	●
利水ダム等における事前放流の運用	福岡県			利水水系(ほろたぐみ)	●	●	●		
砂防施設の整備	宗像市			釣川水系(多れたぐみ、吉田たぐみ、大柱たぐみ)	●	●	●		
急傾斜地崩壊防止施設の整備	福岡県			圏域一円	●	●	●		
海岸防波	福岡県			圏域一円	●	●	●		
森林整備、治山対策	福岡県			小倉海岸	●	●	●		
水害リスクを考慮した立地適正化計画の検討・運用	森林整備事業の実施			福岡県	圏域一円	●	●	●	
	水源林造成事業の実施			福岡県	圏域一円	●	●	●	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報の共有			治山施設の整備	福岡県	圏域一円	●	●	●
				立地適正化計画の取組・運用	北九州市、宗像市	市内全域	●	●	●
		立地適正化計画の策定・運用	阿蘇町	町内全域	●	●	●		
		各種水害想定区域図(または過去の浸水実績範囲)の作成・公表	福岡県、北九州市、宗像市、福津市	福岡県、北九州市、宗像市、福津市	●	●	●		
		各種ハザードマップの作成・公表	北九州市、宗像市、福津市、阿蘇町	北九州市、宗像市、福津市、阿蘇町	●	●	●		
		行先・経路・避難場所の水害リスク情報の提供及びマップの作成・公表	福岡県、北九州市、宗像市、福津市、阿蘇町	福岡県、北九州市、宗像市、福津市、阿蘇町	●	●	●		
		自主防災組織の設立	福岡県、北九州市、宗像市、福津市、阿蘇町	福岡県、北九州市、宗像市、福津市、阿蘇町	●	●	●		
		まるごとまごころマップの整備	福岡県、北九州市、宗像市、福津市、阿蘇町	福岡県、北九州市、宗像市、福津市、阿蘇町	●	●	●		
		防災意識啓発のための広報活動	福岡県、北九州市、宗像市、福津市、阿蘇町	福岡県、北九州市、宗像市、福津市、阿蘇町	●	●	●		
		警戒レベルに応じた防災気象情報の周知	福岡県、北九州市、宗像市、福津市	福岡県、北九州市、宗像市、福津市	●	●	●		
水位計・雨量計・河川監視カメラの設置	福岡県、北九州市、宗像市、福津市	福岡県、北九州市、宗像市、福津市	●	●	●				

※対策メニューは代表的な事例を記載。スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。
 ※被害の軽減、早期復旧・復興のための対策は実施中・実施中のものもあり、それらを含め、今後継続的に運用するため、中長期に区分する。

福岡県
北九州・宗像圏域 流域治水プロジェクト【ロードマップ】
 ～世界文化遺産を有する古くから栄えた地域を水災害から守る圏域が一体となった流域治水の推進～

北九州・宗像圏域の主な対象水系【貫川水系、竹馬川水系、相割川水系、奥畑川水系、清滝川水系、大川水系、村中川水系、紫川水系、板櫃川水系、磯川水系、割子川水系、金山川水系、金手川水系、矢矧川水系、汐入川水系、釣川水系、手光今川水系、西郷川水系】

区分	対策内容	実施内容	実施主体	水系名	短期	中期	中長期	
二級水系 流域治水プロジェクト 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	住民等への防災情報の周知	防災情報サイトの周知 様々な防災情報提供ツールや情報提供媒体を活用した防災情報伝達の強化・多量化	福岡県、北九州市、宗像市、福津市 筑紫台、福岡県、北九州市、宗像市、福津市、岡垣町 福岡県、北九州市、宗像市、福津市、岡垣町					
	重要水防箇所や河川巡視情報の共有、周知	重要水防箇所の共同点検	福岡県、北九州市、宗像市、福津市					
	水防体制の維持強化	重要水防箇所の共有 河川巡視情報の共有 水防資機材の配備・確認	福岡県、北九州市、宗像市、福津市 福岡県、北九州市、宗像市、福津市					
	タイムラインの作成、ホットラインの構築	タイムラインの作成・運用 関係機関のホットラインの構築	福岡県、北九州市、岡垣町 筑紫台、福岡県、北九州市、宗像市、福津市、岡垣町					
	関係機関の連携、協力体制の構築、人材育成	関係機関が連携した水防訓練、通船体制、情報共有の強化 自主防災組織・水防班・防災リーダーの育成、河川協働団体との連携	福岡県、北九州市、宗像市、福津市、岡垣町 福岡県、北九州市、宗像市、福津市					
	避難場所や避難路の確保	広域的な避難計画の立案や避難場所の検討 避難場所・避難経路の確保・点検・見直し	福岡県、北九州市、宗像市、福津市、岡垣町					
	避難行動に繋がる計画立案及び訓練実施	タイムライン等に基づく実践的な避難体制の構築及び避難訓練の実施 要配慮者利用施設の避難計画の立案及び避難訓練の実施	福岡県、北九州市、宗像市、福津市、岡垣町 福岡県、北九州市、宗像市、福津市、岡垣町					
	復旧・復興の迅速化	水害リスクの高い地域での住民との共同点検・避難訓練の実施 浸水時の排水設備化(排水計画立案、排水ポンプ車の配備、排水訓練の実施等)	福岡県、北九州市、宗像市、福津市、岡垣町 福岡県					

※が抜メニューは代表的な事例を記載。スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。
 ※が抜書の内容は実施済・復興中のものもあり、それらを含め、今後継続的に運用するため、中長期に区分する。